

(2022年7月25日)

青少年のための科学の祭典 — 2022おもしろ科学まつり — 和歌山大会 開催要項

1. 大会名 青少年のための科学の祭典 — 2022おもしろ科学まつり — 和歌山大会
2. 日時 2022年11月26日(土)～27日(日)
11:00～17:00 (入場受付は16:30まで)
3. 場所 和歌山信愛大学(和歌山市住吉町1番地) <https://www.wsu.ac.jp/>
本町公園(和歌山市北桶屋町7) <https://www.kishumachi.com/honmachipark>
※ 南海本線「和歌山市駅」から徒歩約13分。JR和歌山駅より和歌山バス約8分(「本町3丁目」バス停下車)。
※ 近隣に無料駐車場はございません。自家用車でご来場の際には、本町公園地下の「本町地下駐車場」をご利用ください。
4. 入場料等 無料 ※ウェブからの事前予約及びスマホを使ったチェックインが必要
5. 趣旨

和歌山には、伝統と文化を支える「科学と技術と産業」が存在します。そして、「科学と技術と産業」は、地域を支えるとともに世界中に豊かさを提供しています。2000年から開催している『おもしろ科学まつり』では、この事実を、好奇心と楽しさを通じて、青少年を中心とした地域住民や全国の皆さまにお伝えしています。『おもしろ科学まつり』は、こどもたちを中心とした皆さまが、科学や技術を体験することができる機会として、地域に定着した、長い歴史を持つ催しです。昨年は、「紀の国わかやま文化祭2021」の開催に併せ、兄弟イベントの『おもしろ環境まつり』と一緒に、「科学」「技術」「環境」をテーマにした総合サイエンスイベントとしてオンラインで開催を致しました。今年度は、『おもしろ科学まつり』の単独開催に戻り、そして、3年ぶりに対面で開催を致します。科学を楽しみ、和歌山を知るそんな2日間になればとの思いで、みなさまのご来場を心からお待ちしています。

6. 大会キャッチコピー 和歌山のマチナカが科学のお祭りに大変身！！
7. 出展内容および規模
 - ・自然科学及び人文科学、社会科学等の分野に関する実験、観察、工作等のブース及び展示、講演会等
 - ・出展数：20件(予定) ※感染症対策のため、今年度は出展件数を縮小して実施いたします。
8. 出展協力者
 - ・博物館や企業、地方自治体等、市民の有志、小学校、中学校、高等学校、大学・高専の教員(学生)
9. 対象
 - ・小学生、中学生、高校生、高専生、大学生、教員及び一般
 - ・入場者数予想：4,000名(予定) ※感染症対策のため、今年度は入場事前予約制とします。

10. 実施団体等

◎ 主催

青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会、和歌山大学、一般財団法人雑賀技術研究所、日本物理教育学会近畿支部、公益財団法人日本科学技術振興財団

◎ 共催(予定・依頼中)

和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、和歌山県科学教育研究会、和歌山市小学校理科教育研究会、和歌山市中学校理科教育研究会、和歌山県高等学校理科学研究会、おもしろ環境まつり実行委員会

◎ 協賛（募集中）

2022年9月下旬ごろ掲載予定

◎ 後援（予定・依頼中）

和歌山県、和歌山市、和歌山工業高等専門学校、近畿大学生物理工学部、和歌山商工会議所、一般社団法人和歌山県発明協会、株式会社和歌山リビング新聞社・日本宇宙少年団和歌山分団、文部科学省、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会

◎ 特別協力（予定）

和歌山信愛大学、株式会社紀州まちづくり舎

1.1. 新型コロナウイルス感染症対策について

本大会は、政府や自治体のガイドライン及び現地会場等の基準に従って、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながら開催いたします。

出展者には、マスク着用・消毒・ソーシャルディスタンス等の基本的な感染症対策のほか、出展参加者全員の当日体調管理チェックリスト等の提出を求めるように致します。また、一般の来場者はインターネットを使った事前予約制とすることで、会場への入場者数に制限を設けます。来場者には、ご予約していただいた後、ご来場の際には、お手元のスマートフォンを用いたチェックインを必要とするようにいたします。その際、来場者にも体調の状況等を漏れなく提出していただきます。実行委員・出展者・来場者を含めたすべての関係者で、体調不調の方には、会場への入場をお断りすることと致します。

開催日の1か月前には、近畿二府四県における感染症の状況や政府・自治体からの要請等の状況を踏まえて、関係機関とも相談した上で、本大会の開催の可否を実行委員会で判断します。判断結果は、それまでにお申込みいただいたすべての関係者に電子メールと実行委員会公式ウェブサイトを通じてお知らせ致します。ただし、その後の状況次第では、開催日まで1か月を切った後、それが当日であっても、催しをすべて中止することもありますことをご了承ください。

1.2. サテライト企画「和歌山おもしろ科学大賞投稿動画コンテスト2022」

本大会のサテライト企画として、2020年から開催している「和歌山おもしろ科学大賞投稿動画コンテスト」を2022年度も実施の予定です。このコンテストでは、インターネットを通じて、科学や技術に関する教育目的のオリジナル動画を全国から募集いたします。本コンテストを通じて、実験や工作、講演会等のさまざまな科学や技術に関する動画コンテンツを多くの子どもたちに提供したいと我々は考えています。また、学生を中心とした若手動画クリエイターに活躍の場を提供することで、次世代人材の育成を促進したいと考えております。

動画の投稿方法（コンテストへの応募）等の詳細は、2022年9月ごろに公開の予定です。投稿〆切は、2022年11月下旬、ご投稿いただいた動画の一般公開は、年末年始の休み時期前後を予定しています。インターネットを通じた一般投票及び実行委員会の審査員でのご投稿いただいた動画を審査して、数件の作品を「和歌山おもしろ科学大賞」として表彰する予定です。

「和歌山おもしろ科学大賞」は、2017年度の「おもしろ科学まつり」からはじまった表彰制度です。「おもしろ科学まつり」や投稿動画コンテストの出展・作品の中から数件の特に魅力的なものを選奨しています。2022年度は、現地開催の「おもしろ科学まつり」については、出展件数を減らして開催する計画です。そのため、「和歌山おもしろ科学大賞」の対象は、投稿動画コンテストの作品のみとさせていただきます。ご了承ください。

1 3. 「青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会」2022 年度実行委員

(2022 年 7 月 25 日現在)

【実行委員長】

中島 敦司 和歌山大学協働教育センター（クリエ）／システム工学部

【事務局長】

西村 竜一 和歌山大学協働教育センター（クリエ）／データ・インテリジェンス教育研究部門

【会計】

津田 尚明 和歌山工業高等専門学校知能機械工学科

【実行委員】

秋吉 博之 和歌山信愛大学教育学部／教学センター

東 志帆 和歌山県商工観光労働部産業技術政策課

臼井 達也 NPO 法人わかやま環境ネットワーク

勝浦 友貴 和歌山大学協働教育センター（クリエ）

栗柳 哲也 和歌山市立宮小学校

古賀 庸憲 和歌山大学教育学部

小佐田 裕美 わかやまエデュケーションシステム

児玉 啓一郎 フリー

齊尾 茉里 m art space

阪本 博子 一般財団法人雑賀技術研究所

佐田 正香 一般財団法人雑賀技術研究所

谷口 祐太 和歌山大学協働教育センター（クリエ）

出口 博之 一般社団法人和歌山県発明協会

中西 豊 一般財団法人雑賀技術研所

中野 満里子 和歌山市教育委員会・和歌山市立こども科学館

仁藤 伸昌 近畿大学生物理工学部

樋口 陽平 近畿大学附属和歌山高等学校中学校

藤木 郁久 和歌山県立桐蔭中学校・桐蔭高等学校科学部顧問

松岡 豪 和歌山信愛大学教学センター

三浦 浩一 和歌山大学データ・インテリジェンス教育研究部門

山岡 正史 和歌山県教育庁学校教育局義務教育課教育課程班

山崎 領 和歌山県商工観光労働部産業技術政策課

吉川 誠人 株式会社紀州まちづくり舎

吉村 旭輝 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹紀州経済史文化史研究所

お問い合わせ先：

青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会（担当教員：西村 竜一）

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 和歌山大学 協働教育センター（クリエ）内

電話：073-457-8504

<https://www.kagaku-wakayama.com/omoshiro2022/>

E-mail: omoshiro2022@kagaku-wakayama.com